

2004  
09.01

Vol. 63



社団法人日本建築家協会  
The Japan Institute of Architects

# NAGANO <http://www4.ocn.ne.jp/~jia-naga/> -KEN CLUB

JIA 長野県クラブ

## 職能委員会の役割



職能委員会は、「登録建築家」と「公共建築の設計者選定問題」への取組が大きな役割となっている。この二つの問題は会員一人一人が、自分自身のこととして改めて考えねばならないことではないでしょうか。昭和20年代以降、国や地方自治体は建築士制度の中で建築士に建築設計において特別な権利を与えてきた。その同じ国や地方自治体が設計業務として発注してきたのは主に実施設計であり、建築士であれば均質的に得られると考えた施工的、工学的技術の図面化である。したがってその発注方法は殆どが入札によっている。そこでは空間の質や環境としての建築、社会的、歴史的、哲学的建築のあり様は役所の仕事としているわけですが、役所内では無視され、担当者にはその能力もない。一方民間ではよく発注者は私が設計したと自慢している。日本には木割という建築生産システムがあり、生活に馴染んだ坪、帖と言う平面単位がある。そ

職能委員長・会計幹事 児野 登

こでは建築に対する肉体的、物理的欲求は誰でも共有できた。官も民もたいたいした差ではなく、建築に対する要求がこの範囲にとどまれば設計料もその程度のもの。

しかし近年、少しずつではあるが建築に対し建築本来の姿が求められている。その様な建築の設計は誰がしてくれるのか。その建築家はクライアントのパートナーとして信頼できるのか。実は問題はわたし達の側にあり、わたし達自身の本当の情報を公開することが求められています。

第三者が認める一つの基準による情報の公開が登録建築家制度です。CPD(継続教育)が主な骨格になっていますが、基準は時代の要請により変化していきます。登録建築家制度が始まり、長野県クラブでは8月6日登録建築家について「本音で語ろう会」が開催された。職能委員会は今後多くの県クラブ会員が登録建築家となるよう働きかけ、会員の皆さんと共に公共建築を含め、建築本来の役割を建築家として、また一市民として社会に働きかけていければと思います。



8月6日「本音で語ろう会」



8月6日「納涼会」

# 新委員長の抱負

## 大変な役を受けてしまった！

総務委員長などという大変な役を受けてしまって、今になって困惑しています。私の一番苦手な事は「人に気配り！」と言うことです。総務と言えばまさに、気配りのできる人格でなければできない役目です。不器用な私には大変重荷なわけで、皆様に大変ご迷惑を掛けてしまいそうで不安です。しかし、私には強い助人、副委員長の市川さんがいてくれます。何とか皆様のお力を借りて頑張りたいと思います。よろしくお願ひ致します。

総務委員長 丸山 幸弘



## 理想を高くかつ身近な暮らし向きのステップアップとしてこそ市民の窓口となりたい！会員委員長 片倉 隆幸

日本建築家協会建築家認定評議会から登録建築家の称号をいただき自己研鑽に励むとともに会員委員長として愛と情熱の家づくり第3刊の発刊を目指します。編集は住まいづくりにこだわりませんが、公共建築にてもまちにくつろぐことを考えますと一人、一人の生きかた、考え方の発信を重視して消費者を保護することを基本とし、会員の人柄と市民、暮らしとまちが繋がるきちんとした情報公開を目指していきます。どうぞ未熟ではありますが、理想を高く身近な問題をきちんと取り上げ、会員増強にも繋げていきたいと思いますのでどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。



## 自然体で…

事業委員長 荻原 白

今年の夏は近年希な暑い日が続いております。

JIA長野県クラブも5月より高橋新体制となり、そんな中突然非力な私に事業委員長を！の命が下り、この数年事業委員会に籍を置いてはいましたが後方支援を得意技としておりました。私は、出来るだけ『自然体で…』委員の皆様に参画して頂き、花も実もある委員会活動を運営していきたいと思っております。それにつけても、会員の皆様方のご支援ご協力を程宜しくお願ひ致します。



## 街並みウォッチングのお誘い

まちづくり委員長 荒井 洋

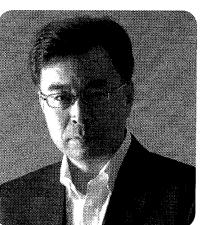
私は他団体でのまちづくり活動が14年を越えてしまいました。やればやるほど難しいものだと感じています。行政の立場、住民の立場、立場が変わればまちづくりの考え方も微妙に変わってきます。簡単に正解が見つけだせるものでもなく、結局我々に出来るのは日々の仕事で景観に配慮した建物を設計していくしかないと考えています。そのためには良い物をたくさん見て勉強しましょう。街並みウォッチングへの皆さんへの参加をお待ちします。



## 今一番伝えたいこと。

広報委員長 林 隆

愛と情熱の家づくり第一集を見てJIAに入会した。先輩方から気軽に声をかけていただいて嬉しかった。できるだけイベントにも参加して、自分の意識を高め明日へのエネルギーをもらいたい。同世代の仲間とは手掛けた仕事を通じて切磋琢磨したいし、たまには酒も飲みたい。同じ志をもつ人達と出会えたことが幸せで、実務のことでも相談ができる関係は何と心強いことか。そんな“魅力のある長野県クラブであること”を伝えていきたい。



## 新入会員 紹介



A&D住空間スタジオ 野口 大介

このほど、JIA長野県クラブに入会しました、A&D住空間スタジオの野口大介と申します。松本市の隣、東筑摩郡波田町で昨年の1月から事務所を開設しております。暗中模索の状態で日々の業務に追われています。出身地は、東京都練馬区で、生年月日は1966年5月9日満38歳です。家族は、妻と娘2人（小学6年生と1歳）、犬1匹猫1匹の4人+2匹です。

この会に積極的に参加し、先輩方と交流させて頂くことで、建築の事、その他多くのことを学び、これから建築設計活動にプラスになる様にしたいと思っております。

若輩者ですが、どうか宜しくお願ひいたします。



かつやま設計工房 勝山 敏雄

この度、JIA長野県クラブの一員とさせて頂くことになりました。大学卒業後、東京の設計事務所に勤め、地方の公共施設の設計をはじめとし、まちづくりや地域の計画等に携わりました。どの

プロジェクトも既存のプログラムを一度解体し、その地域に合ったプログラムを形になる前から地域の人たちと共に再構築することで、本当に人々にとって必要で、かつ愛着のあるものができるかを常に考えてきました。

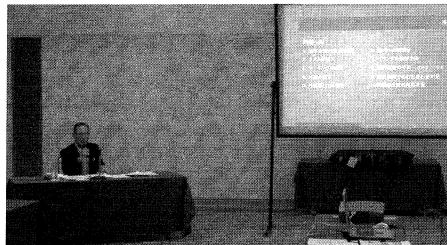
3年前に故郷である長野に戻り、設計事務所を開設し、今までの経験を活かして、微力ではありますが少しでも地域社会に貢献できればと思い、活動しています。また、伝統的な木製建具の技術を継承していくことも大切なことであると考え、家業である木工所の後を継ぎ、建具の仕事もしています。

去る8月6日(金)、長野市のホテル国際21にて勉強会・技術交流会・本音で語ろう会が開かれました。  
当日は、正会員・賛助会員合わせ50名余が参加して、活発に議論が交わされました。

## 「建築家賠償責任保険制度」勉強会に参加して

8月6日に「ホテル国際21」において第2回となる「ケンバイ勉強会」が開かれました。最近の裁判例から伊那市に於けるトラブルの実例を説明して頂きました。細かく内容を書き切れませんので、印象的なお話を箇条書きしますと、

- ・以前では多少の問題も建設会社がフォローしてくれていた。
- ・報酬の割に責任だけが重くのしかかる。
- ・施主の希望通りの図面を描いても、その事が設計ミスにつながり訴えられる。



講師の権瓶莊平氏

でした。トラブルを起こしている物件で共通して言える事は、打ち合わせ不足、コミュニケーション不足との説明でした。

菊池 弘之  
何も最初から裁判を起こそうと思ってい  
る施主も設計士も工事業者もいないはず  
なのに。

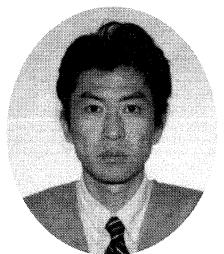
引き続き東京の建築家会館支配人・権  
瓶莊兵氏より、事例・具体的な仕組み・対  
応についてお話を伺いました。

印象的な言葉は

- ・施主にとって、問題はメーカー、設計者どちらも関係ない。
- ・トータルの責任を自分で負えるのか？
- ・保険をお守りと思って加入している設計士もいる。

最後に高橋会長より、お施主さんが設計を建築士に依頼する事を保険と思っている人もいる。建築士は保証として保険に入つておく事も必要なのではないかとのお話をでした。

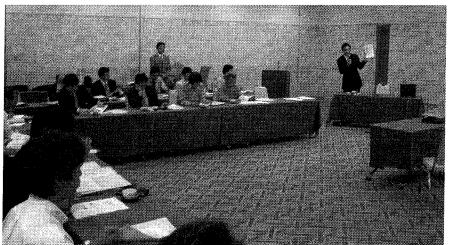
建築士のスタンスの必要性も感じましたが、それとは別に「ケンバイ」の必要性も感じました。



## 技術交流会に参加して「緑化に思うこと」

今回の技術交流会は屋上防水と屋上緑化の勉強会でした。

日頃から「家庭とは家と庭がセットで初めて成り立つもので  
す」とか「閑静の閑と言う字は門の中に木が有るじゃないですか、  
木がなかったら閑静な街にはならないでしょう」などと言ひながら、なるべく緑を植えるよう誘導している者としては、また趣  
味はと聞かれると「庭いじりです」と答えていた私としては、近頃の屋上緑化の流れやガーデンブームは大変うれしいことで、緑化はCO2を吸収するとか、大気の浄化に繋がるとか、ヒート



各社1時間ずつの講演

アイランドがどうのとか以前の問題として、緑を見てい  
ると気持ちが落ち着くし、木立に囲ま  
れていると大地に感謝したくなりま

吉川一久  
す。そんな生活を送りたいものです。高層ビルから見える他の建物の屋上が、ひび割れたモルタルや錆びかけたクーリングタワーから、屋上庭園と言うか段々ガーデンが見える、そんな日が来るのもそう遠くないかもしれません。

緑が多いように思われている長野県も緑が有るのは周辺の山だけで街中の緑率は非常に低いと思います、もしかしたら都心の方が上かもしだせん。

これからも屋上緑化の技術の進歩、またそれを土の下で支えている防水工法の成熟に頼る所が大きいのです。

私としてはとりあえず屋上の上で頑張ってもらう植物の名前を覚えるところから始めようと思います。

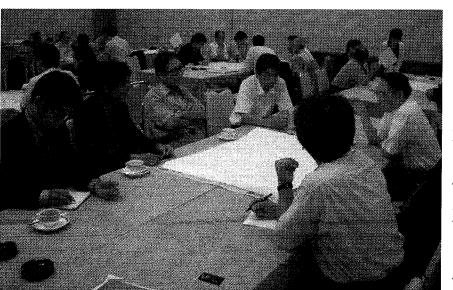
貴重な話を聞かせていただいた田島ルーフィング株式会社と株式会社ダイフレックスの両社に感謝申し上げます。



## 「まずは登録」-本音で語ろう会に参加して-

8月6日に行われた当クラブの本音で語ろう会(テーマ:登録建築家と会員増強について)に参加しました。そこでのワークショップで正会員・賛助会員の皆さんの様々な意見や疑問を聞き、私なりにではありますがあなたがJIAの登録建築家について多少イメージできた気がします。

まず、JIAの「登録建築家」とは、一握りの有名建築家とは違うと云う事。すなわち「登録建築家制度」とは、設計・監理を職能とする資格者について、現在の建築士法の不足な部分を補う



6テーブルに分かれての意見交換

制度である(のではないか)と云うことです。そして、その補うべき(建築士制度の)不足部分とは、資格を与えるに足る「実務経験を積んでいること」と資格

市川 英一  
者としての能力を維持し高める為の「継続的研修をしていること」を明確にすること、加えて社会の信頼を裏切らない「倫理感」を持っていることの確認、の3点なのではないかと思いました。

各テーブルの代表者の発表を聞いた時点で、以上のような私なりの“制度についての理解”は出来たつもりでも、まだなんなく頭の中に纏がかかっているような気分でした。しかし、最後に出澤さんが「この制度は、我々(の職能)を社会に認めてもらうための“社会運動”なのだから、まずはみんなで登録しましょうよ。」と言われるのを聞き、頭の中の纏がすっと晴れていくのを感じました。

登録することが、我々が社会から認知してもらう為の運動なのだ、と考えると“基準が適切か？”とか“会員を差別するのか？”とか言うより、まず一人でも多くの会員が登録することで運動を盛り上げることが重要で、『まずは登録』だと思います。



## 新入会、賛助会員 紹介



### (有)E.C.O代表取締役 依田 幸紀

弊社は倉敷化工㈱が廃タイヤを再生したゴムチップを利用し「人と環境に優しいリサイクル商品」を県総合代理店として施工販売しております実績を例えれば学校、保育園のテラスやプールサイド、各福祉施設のアプローチ、スロープ等、建設省を始め各市町村の公共施設に採用され始めたユニバーサルデザインの提案企業です。この商品の特性は透水性に優れゴムの持つ弾力性がひざや足への負担を軽減し滑りにくく耐久性に優れており役所や各設計の先生方皆様にご提案させて頂きご意見を伺う商品PR活動に専念し足を運んで6年間という月日の流れの中で安全安心を考えた福祉社会と高齢化社会に役立つ仕事になると確信しております。今後も足で歩き肌で感じた貴重な実感を大切な原動力として頑張りぬく所存でございますので弊社のJIA担当小林を含め、一層のお力添えを承ります様ご指導ご鞭撻の程宜しくお願ひを申し上げます。



### (株)サン・スプレー 下平 康之

この度、新しく賛助会員としてお世話になります(株)サン・スプレーのシモヒラと申します。建築・橋梁塗装、アスベスト処理、湿式外断熱工法施工を主な業務に、本隊を抱えた塗装・改修工事の専門工事業者として昭和35年創業以来、確かに誠実な手仕事を心がけて参りました。今後とも宜しくお願い申し上げます。さて、私はこの業界に入ったばかりの新人なのですが、実は絵描きをしております。個の時代といわれて久しい今、大量生産では成し得ない豊かさを皆さんと共にできることに大変感動しております。至らない点がありましたら、会員・賛助会員の先輩方、宜しくご指導お願い申し上げます。

## 「建築家大会2004東京」のご案内

期 間:2004年10月13(水)～10月17(日)

会 場:国立オリンピック記念青少年総合センター  
(渋谷区代々木神園町3-1)

大会テーマ:美しい国づくり・美しい街づくり

申込期限:9月10日(金)

基本登録料:JIA正会員/10,000

賛助会員/10,000

同伴者・他団体/5,000

※詳細はJIA本部のホームページをご覧下さい。



## 会員情報

### ■9月現在

正会員…70名

賛助会員…66社

■会員各自のCPD取得単位数をJIA本部のホームページ上で確認することができるようになりました。

## 「登録建築家」認定スタート!!

2003年度既に1069名の認定者が誕生しました。

2004年度最初の第3回登録建築家認定申請の時期です。

申請の期限は9月15日となります。

未登録の県クラブ会員の皆様は是非申請をお願いします。

※新建築8月号(P18、19)に認定者一覧が掲載されています。

## JIA長野県クラブの出版物ご案内

あなたの夢を建築家が実現します!!

信州で「家づくり」に

情熱を傾ける建築家を一挙紹介!!

「設計を建築家に頼みたいが、敷居が高い…」とお考えのあなたに、建築家一人一人の「仕事」を写真と文章でご紹介。

家づくりの最良のパートナーに出会える一冊です。

### 2005年3月第3集発刊予定

・既刊本「愛と情熱の家づくり」定価¥1,429

・既刊本「建築家とつくる家」定価¥1,429

お問い合わせ・お求め

JIA長野県クラブ 長野市南長野妻科426-1 長野県建築士会館内  
TEL:026-232-3897



### 編集後記

当クラブ広報委員会も「外向きを意識して」ということであります。会員個々においても誌面他メディアに登場される方もしばしば。その度に「おっ」という感動があります。近頃、建築家相談会といつてもメーカー主催であったりして複雑な思いをするわけですがやはり、ハデな宣伝は必要なくとも、正しく認知をされる必要はあると改めて思うのです。…………広報副委員長 岸本貴志(㈱本久)

皆様からの投稿をお待ちしております。誌面へのご意見もお寄せ下さい。

編集人／林 隆 発行所／JIA長野県クラブ 長野市南長野妻科426-1 長野県建築士会館内 作成／アッカグラフィックス/新建新聞社  
発行人／高橋重徳 TEL:026-232-3897 FAX:026-232-5303 URL <http://www4.ocn.ne.jp/~jia-naga/>